

## クラブ長期計画・クラブ研修リーダー

担当理事兼委員長 平本 康雄

### 《方 針》

コロナ禍の3年余りロータリークラブとしての活動が制限されていたが、今年からは通年事業の他、昨年から実施したトスボールや鮎の放流事業を復活させ、地域・青少年の育成に取り組む事業を実施し綾瀬ロータリークラブとして地域貢献を目指す。

### 《実行計画》

- ① 前年度企画・実施した市内横断歩道旗設置事業を、経年事業として進める。
- ② 市内小学校を対象にトスボール事業を経年事業として企画運営する。
- ③ これからの綾瀬ロータリークラブとしての運営を皆で検討し推し進める。
- ④ 目久尻川にて鮎の放流事業の実施
- ⑤ 入会間もない会員に、会員フォーラムや懇親会などで、わがクラブの歴史等を学んでもらう。
- ⑥ クラブの5年後、10年後を見据えたクラブの在り方を模索し会員皆で考え構築していく。

## クラブ研修委員会

副委員長 青柳 孝夫

委 員 鈴木 洋一 / 田墨 幸一郎 / 栗田 智太 / 栗原 茂明 / 笠間 茂治

### 《方 針》

クラブ会長方針のもと、クラブ研修リーダーと共にクラブ内の研修事業を計画実施し、クラブを活性化させていく。

### 《実行計画》

- ① 地域社会の変化とニーズを的確に捉える。
- ② 地域の青少年支援活動の研究
- ③ ロータリーに関する研修会を開催する。
- ④ 地区研修委員会の内容をクラブへフィードバックしていく。

## クラブ奉仕委員会

担当理事兼委員長 栗原 茂明

### 《方 針》

「ロータリークラブの基本は親睦から」と言われてきました。本年度は、会長方針の中で「親睦」を深め、50周年を祝うとともに次の50年につなげる活動をみんなで考えてほしいと言われています。その中核となる活動が、クラブ奉仕関連委員会です。

従来活動を継承しつつ、新しいことにも取り組み新しいクラブ奉仕委員会の活動をみんなで考えていきます。

### 《実行計画》

- ① 例会の内容をSAAと例会運営委員会が協力し、また創意工夫して、委員会報告や卓話の時間が、会員が楽しく・魅力ある・活力を感じる時間にしていきたい。
- ② 親睦事業の内容や会場選定などを工夫して、会員がクラブを楽しみ・参加して良かったと思える委員会活動を考えていきたい。
- ③ 会報の発行やほかのメディアにも情報提供し、クラブの活動を多くの人に知っていただく活動にも積極的に取り組んでいきたい。

## プログラム委員会

副委員長 田中 伸宜

委 員 見上 周太 / 鈴木 洋一

### 《方 針》

会員の皆様にとって楽しめる魅力ある卓話を実施し、出席が楽しみになるような例会にする。

### 《実行計画》

- ① ロータリークラブの知識を深める卓話の実施
- ② 会員に役立つ情報の提供
- ③ 会員も含め、活躍している方の講演
- ④ 時節的な話題性に富んだ卓話の実施
- ⑤ 委員会報告が少ない時には会員による3分間スピーチを盛り込む。

## 例会運営委員会

■合唱	副委員長	青柳 孝夫	委員	堀内 岳
■スマイル	副委員長	加藤 良男	委員	伊東 裕之 / 田墨 幸一郎
■出席	副委員長	渡井 克正	委員	笠間 茂治 / 島田 裕亘
■公共・会報	副委員長	川浪 潤	委員	佐藤 涼栄 / 堀田 晃一 / 志澤 直樹

### 《方針》

- [合唱] 厳粛にもアットホームな例会運営を努める。
- [スマイル] スマイルボックスの主旨は「何か良いことがあった時に志を寄付する」です。ただ、日々の忙しい日常の中で「良いこと」が起こることは少ないかもしれません。そこで、うれしいなと思えること、小さな幸せを探して頂きスマイルへの寄付をお願い致します。
- [出席] 出席率を向上させる。
- [公共・会報] クラブ活動と例会の状況や情報を会員に伝達する。  
地域に当クラブをもっと周知するために、クラブの行事・奉仕活動を積極的に周知していく。

### 《実行計画》

- [合唱] ① 合唱委員会 歌詞カードを出し、歌っていただく。  
② 季節ごとの歌を取り入れたい。
- [スマイル] ① 自然に笑顔があふれるような発表とする。
- [出席] ① 平均出席率90パーセント以上を目指す。  
② 事前・事後のメイクアップを奨励する。  
③ 皆出席をお祝い、記念品を贈呈する。
- [公共・会報] ① 迅速にわかりやすく見やすい会報を発行する。  
② クラブの行事を市の広報や各メディア・タウンニュース等に配信し、クラブの公共イメージを高める。

## 会場監督 (SAA)

副委員長 平本 康雄

委員 生駒 秀之 / 鈴木 正和

### 《方針》

クラブの顔である 例会の風紀、品位、秩序この3つを基本に例会の運営に努める。

### 《実行計画》

- ① 例会欠席の場合、必ず事務局に連絡を取るよう事前連絡の徹底を図る。
- ② 例会の品位を保つため、携帯電話の使用や、私語をなくすよう監督する。
- ③ 会員相互の親睦を図るため、定期的に席替えを実施する。  
地区の委員会に出席した場合、報告を促す。
- ④ 例会出席時、ロータリアンとして節度ある身だしなみで出席する事を促す。

## 親睦委員会

副委員長 津田 哲郎

委員 竹ノ谷 雅人 / 中島 保司 / 生駒 秀之 / 加藤 良男 / 田中 伸宜  
田墨 幸一郎 / 堀田 晃一 / 峰尾 四郎 / 室谷 陽生

### 《方針》

会員全員がより密になり親睦を深めることができ、楽しく思い出に残るような企画はもちろんのこと、親睦を通じてロータリアンとして学び深い事業を実践いたします。

### 《実行計画》

関連部署との連携を密にして、下記の年間事業を実施する。

会長幹事慰労会	7月4日(火)
納涼移動例会	8月1日(火)
クリスマス例会	12月22日(金)
新年会(春日合同・企画担当)	1月16日(火)
花見移動例会	4月2日(火)
会員誕生会	3ヶ月に1回(9月、12月、3月、6月)

## 会員増強関連委員会

担当理事兼委員長 志澤 直樹

### 《方針》

創立50周年を迎え、会長方針の「次の50年へ繋ぐ」ためにはクラブを永続的に繁栄させる必要があり、会員増強・維持が重要となります。

クラブの伝統を守りつつ会員候補者の多様化にも対応しながら、より多くの仲間を増やせるよう積極的な入会促進活動を行う。

### 《実行計画》

- ① 目標 純増2名+ $\alpha$
- ② 委員会を開催し会員全員との情報の共有と交換を密に行えるようにする。
- ③ クラブの長所や活動を見える化し、入会員候補者への情報提供をする。

## 会員増強・ロータリー情報委員会

副委員長 古郡 孔文

委員 竹ノ谷 雅人 / 平本 康雄 / 生駒 秀之

### 《方針》

会員増強は、クラブ活力の源であり、活性化の基であるが故に創立50周年の節目を好機と捉え会員各位の増強に対する意識を高める。

### 《実行計画》

- ① 実行計画会員相互の情報を密にする機会を設ける。会員候補者を発掘し、全体で増強活動を展開する。
- ② 他の委員会と連携し、ロータリー情報を告知する。

## 奉仕関連委員会

担当理事兼委員長 堀口 淳二

### 《方 針》

会長方針である、今までの50周年と、次の50年に繋げる。

この一年を『第二の創成期』と捉えて、奉仕活動をより強力に進めていきたい。

我がクラブの伝統の一つである【地域の子供たちへの奉仕活動】をより強力に進めていきたい。

コロナ過で活動自粛を余儀なくされたが、今年はそれを跳ね返し、次の50年に繋げていく年にする。

### 《実行計画》

- ① 社会・国際奉仕の活動計画が実施できるよう支援する。
- ② 職業・青少年奉仕の活動計画が実施できるよう支援する。
- ③ コロナ渦で中止になった「目久尻川鮎の稚魚放流事業」等の実施
- ④ 奉仕活動が地域に認知されるよう各委員会と連携する。

## 社会・国際・職業・奉仕委員会

副委員長 高橋 孝司

委 員 関川 秀三郎 / 中村 明正 / 川浪 潤

### 《方 針》

会長方針に基づき地域に密着した社会奉仕活動を行う。

国際平和と親善を深める奉仕活動を行う。

職業奉仕の理念を研修し理解を深める。

### 《実行計画》

- ① 恒例のピーナッツ掘りの実施
- ② トスボール大会の実施
- ③ ウォークラリーへの協力
- ④ 世界ポリオ根絶推進活動への参加
- ⑤ 新一年生へのランドセルカバーと横断旗の寄贈
- ⑥ その他、子供たちへの奉仕活動
- ⑦ 職業奉仕に関する卓話を提供する。

## 財団・米山関連委員会

担当理事兼委員長 伊藤 正貴

### 《方 針》

本年度も引き続き前年度の流れを踏襲して、会員皆様に「ロータリー財団」並びに「米山奨学金制度」の目的や意義の理解を深めて頂けるよう努力し、会員の皆様からの貴重な寄付金のご協力を得られるような活動をして、地区目標を目指す。

### 《実行計画》

- ① 財団活動事業や、米山奨学金について理解を深めて頂き、各寄付金への協力をお願いする。
- ② 各奨学生による卓話を企画

## 財団・米山奨学事業委員会

副委員長 栗田 智太

委 員 齊藤 敬訓 / 鈴木 正和 / 山下 恒久

### 《方 針》

ロータリー財団活動事業及び地区目標と、米山奨学金の目的や意義を、会員の皆様に理解してもらい、ご協力をお願いして早期目標達成に努力する。

### 《実行計画》

- ① 会員の理解を得て、米山奨学金地区目標額15,000円、ロータリー財団年次寄付を一人200ドル以上お願いする。
- ② 10月に米山奨学会月間と、11月のロータリー財団月間に、それぞれ卓話をお願いする。
- ③ ポリオ40ドル以上（撲滅までの理解）